

## (1) 学校経営の改革方針における今年度の重点取組についての評価結果

項目	行動計画の目標・評価方法	達成状況・評価結果	具体的取組に関する成果や課題
学習関係	重点行動計画1「授業の改善・充実」 (1) 公開授業や研究授業を実施し、指導方法の改善、指導力の向上に取り組む。 (2) 生徒の授業満足度90%以上 (3) 年間総授業時間数の確保（年間：1,050時間以上）	(1) 英語では近隣の中学校教員も参加した公開研究授業を実施した。 (2) 授業はわかりやすいか 72% (3) 自習の時間が少なくなるよう振り替えなどを行っている。	(1)・MIE SELHi 事業指定校として、次年度も引き続き積極的に取り組んでいくことが必要である。 ・公開授業の参加者を集める工夫が必要である。 (2)「楽しい授業」への模索
生活関係	重点行動計画2「充実した学校生活」と「自主活動の促進」 (1) 挨拶の励行、遅刻防止に努める。毎日、登校指導を実施する。 年間遅刻者数：昨年度比10%減 (2) 部活動を奨励するための活動を積極的に行う。	(1) 毎朝、職員が交代で校門指導を実施。遅刻者数は、昨年度を下回っている。また、生活安全週間を設定し、登下校時に生活面全体の指導を行った。 (2) 表彰式実施	(1) 遅刻者数1月末で、前年度比 35.9%減 (H24：856人、H25：728人、H26：467人) (2)・全国大会出場 陸上部、写真部、文芸部、囲碁部、合唱部 ・陸上部：国体少年女子2位
進路関係	重点行動計画3「生徒の進路希望の実現」 (1) 卒業生から話を聞く機会を設定し、意識を高める。 (2) 教職員のチーム体制を整え、AO・推薦入試受験者への指導内容を充実させる。	(1) 「ようこそ先輩」 ・1月14日（水）倉野信次さん（プロ野球福岡ソフトバンク）による講演 ・2月4日（水）様々な分野で活躍している本校卒業生9人に、それぞれの職業について話をいただいた。 (2) 国公立大の受験者を中心に指導体制を編成し、担任による個別面談を実施 また、現担任・前年度3学年担任・進路指導部等を中心に面接指導を実施	(1)・生徒は真剣に聴いており、事後のアンケートも良好な結果が出ている。次年度も引き続き実施していきたい。 ・1年生の文理選択前に実施すると、より効果的である。 ・キャリア教育の一つとして充実させていきたい。 (2) 1年時の学習習慣が進路希望実現に大きく関係することから、できるだけ早期に意識を確立することが重要
その他	重点行動計画その他 地域と連携した防災・避難訓練の実施 参加者：たけのこ保育所、早修小学校 地域住民のみなさん	地域住民も参加していただき、保小高合同で避難訓練・防災講話を9月10日に実施した。	本校生徒と保育所・小学校および地域住民の防災意識の向上に貢献できた。

## (2)組織の状態の評価結果

アセスメントから明らかになった状況	
強み	<ul style="list-style-type: none"><li>・部活動に参加している生徒が多く、熱心に活動している。学校に活気がある。</li><li>・生徒に丁寧に接する教職員の意識と学校の体制がある。</li><li>・伝統校であり多くの卒業生の協力が得られる。</li></ul>
弱み	<ul style="list-style-type: none"><li>・自分自身で「壁」を作ってしまう生徒が少なからずいる。生徒が自信を持ち積極的に行動できるよう支援することが必要である。</li><li>・生徒数減による影響があるが、新たな体制の構築をチャンスと捉える。</li></ul>

## (3)学校関係者評価委員会の実施状況

学校関係者評価委員会の実施内容等	
<実施回数>	3回
容 実 施 内 容	第1回（平成26年6月25日） 報告：学校の現況について 協議：(1)平成25年度自己評価について (2)平成26年度学校経営の改革方針について (3)学校評価の進め方について 第2回（平成26年12月11日） 授業見学、生徒会役員との懇談、学校自己評価中間報告 第3回（平成27年2月25日） 協議：(1)今年度の取組について (2)平成26年度学校自己評価について (3)来年度の取組について

## (4)学校関係者による評価結果

学校関係者評価から明らかになった改善課題	
評 価 者	<ul style="list-style-type: none"><li>・「授業が分かる」から「授業が楽しい」に進むためには、どうすればよいか</li><li>・様々なことの基本がコミュニケーション力であるので、いかにその力をつけるかが大切</li><li>・「学習活動と部活動の両面で充実感が得られる学校」を実現するための取組の継続</li></ul>

## (5)組織力向上のための取組(改善策)

次年度に向けた取組	
○	1・2年生の学習や進路に関する意識を高める必要がある。 →「ようこそ先輩」を1年時の文理選択に合わせて行うと、より効果が期待できる。次年度に向けて効果的な実施時期と内容について検討する。
○	「学習活動、部活動の両面で充実感が得られる学校」の実現を目指し、1・2年生に放課後課外・土曜課外を実施するとともに、部活動の時間確保に向けた取組を進める必要がある。また、夏季休業中のクラブ活動と課外を両立・充実させるための工夫が必要である。
○	3年生については、「最後まであきらめずにチャレンジしていく気持ち」を持ち続けることができるよう支援していく。
○	生活面の安定が学力向上を初めとする学校生活充実の大きな要素であることから、生徒が規律ある生活を送ることができるよう導く。